|  |
| --- |
| **平成26年の大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き**  　　　　　　　　　　　　　　　大阪府総務部統計課 　勤労・教育グループ  　《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。<http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/maikin_n/index.html> 》 |

統計トピックス２

平成27年３月に、平成26年の「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」（速報）を公表しましたので、その概要を紹介します。

**１　主な動き（平成26年平均、調査産業計・事業所規模５人以上）**  
(1) 賃金の動き　  
　現金給与総額は、335,304円。名目賃金指数による前年比は、1.3％の増加となり、平成20年以来、６年ぶりに増加しました。

(2) 労働時間の動き　  
　総実労働時間は、143.0時間。労働時間指数による前年比は、0.2％の増加となり、平成22年以来、４年ぶりに増加しました。

(3) 雇用の動き　  
　常用雇用指数の前年比は、1.8％の増加となり、平成24年以降、３年連続で増加が続いています。



**２　賃金と物価の動き（平成26年平均、調査産業計・事業所規模５人以上）**  
　平成26年の大阪府における、現金給与総額の名目賃金と実質賃金をみると、名目賃金は６年ぶりに増加（前年比1.3％増）に転じましたが、消費者物価がより増加（前年比2.9％増）したため、実質賃金は引き続き減少（前年比1.4％減）となりました。  
　また、平成26年の全国における、現金給与総額の名目賃金と実質賃金をみると、名目賃金は４年ぶりに増加（前年比0.8％増）に転じましたが、消費者物価がより増加（前年比3.3％増）したため、実質賃金は引き続き減少（前年比2.5％減）となりました。  
  
  
  
（注）１．前年比は賃金指数により算出しているので、実数から算出した値とは必ずしも一致しない。  
　　　２．実質賃金指数＝名目賃金指数／消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）×100  
　　　３．消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）は総務省統計局調の大阪市分と全国分  
  
**３　パートタイム労働者比率の動き（平成26年平均、事業所規模５人以上）**  
　常用労働者に占めるパートタイム労働者の割合は調査産業計で 30.4％となり、２年連続で年平均30％を超え、産業別では「宿泊業、飲食サービス業」が最も高く、79.7％となりました。

